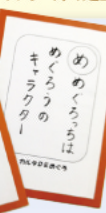


め

「めぐる」のキャラクターめぐるちの可愛さにひとめぼれです。(友)



か

絵が凄く綺麗で鳥森神社が上手に再現されているなど感じました。(想慈)

●僕は「カルタ DE めぐる」の制作には関わっていませんが、「カルタ DE めぐる」のお披露目会、「ティーンズ・フェスタ・イン・めぐる 2018」での取材を通して、約2年間の思いが心に伝わってきました。目黒区のことを知らなくても楽しめるので、ぜひしてみてください。(友) ●僕は「カルタ DE めぐる」の取材という立場で参加しました。お披露目会では、カルタを制作した人たち、「ティーンズ・フェスタ・イン・めぐる 2018」では、カルタ大会に参加してくれた人たちの笑顔や「楽しかった」という感想が聞けて良かったです。(想慈)

ティーンズ・フェスタで

お披露目!

ティーンズ・フェスタでは「カルタ DE めぐる」ブースを設けました。畳を3枚用意してカルタ大会も開催し、区民の方へのお披露目をしました。当初は2回カルタ大会を行う予定でしたが、あまりの人気でもう1回追加して、全部で3試合行いました。試合を重ねるごとに参加する人数が増えていて、3回目の試合では、畳を取り囲むほどのたくさんの人で賑わいました。

小学生もカルタ大会に多く参加してくれました。子どもたちからは「知ってる場所が描かれていて楽しかった」「絵がとてもキレイ」などの感想がありました。中でも人気だった札は「ゆ」と「る」でした。



▲「めぐる」の隣のブースに展示された「カルタ DE めぐる」

▲真剣勝負。力が入ります。

カルタ DE めぐる誕生と

「めぐる」の関係

「めぐる」第9号の夏休み講座に、講師としてお招きしたふるさとプロデューサーでイラストレーターの小坂タイチさんがお話の中で、ご自身の地元三鷹市をPRするために作られた、ご当地カルタ「みたカルタ」を紹介してくれました。「めぐる」編集員も早速、学校生活や地元商店街などを題材にした読み札を考えました。学校の登下校時の出来事を皮肉ったものから、目黒川の桜など地元目黒区の魅力をPRする読み札も多く作られました。小坂さんから、「単に地元を紹介するだけでなく、ちよっとクスツと笑ってしまうような歌も多く、楽しい目黒をPRできる作品づくりができるのではないかと」というアドバイスもいただきました。この「めぐる」の夏休み講座をきっかけに、多くの方が参加することになる目黒区のご当地カルタ作りの活動が始まりました。



▲小坂タイチさんの講座の様子。

「カルタ DE めぐる」は、ティーンズ・フェスタ前日の12月15日の「朝日新聞」や、平成31年1月8日の「東京新聞」、めぐる区報2月15日号でも紹介されました。